

1. 題材名 「外来語を知ろう」

2. 単元設定の理由

- 本学級の子どもたちは、1学期に英語ノートを使った授業に取り組み LESSON3「自己紹介をしよう」までの学習をしている。英語ノートの表現を使い授業を進めているが、4年生では25時間の英語の授業を行っていたため、授業では英語ノートだけでなく、カードを使って授業を行うこともある。

9月に行ったアンケートによると、外国語活動の授業をすき・まあまあすきと答えた子は23名できらいと答えた子は9名であった。きらいと答えた子の理由として「言っていることが分からない」という回答が一番多かった。今年から導入された英語のノートについては、「英語ノートを使うほうと使わないほうのどちらが楽しいか」という問いには、「使う方」16名、「使わない方」9名、「どちらも変わらない」6名であった。さらに「英語ノートを使う方と使わない方のどちらが分かりやすいか」の問いには、「使う方」と20名が答えた。英語が分からないと答えた子にとってもどこを学習しているかが分かる英語ノートは理解を助けるものとなっていることがアンケートから明らかになった。

授業の中で楽しい時間をたずねたところ、「ゲームをするとき」23名「英語を使って友達や先生と会話をするとき」14名であった。言っていることが分かるように、ジェスチャーを交えて授業を進め、ゲームで多くのコミュニケーションができるように計画する必要がある。

- 本単元では、「身近な外来語に興味をもつこと」「必要なもののたずねかた・答え方を知り、積極的に英語を使って尋ねたり注文したりすること」「日本語と英語の発音の違いに気づき、英語の発音に親しむこと」をねらいとしている。

子ども達には普段英語だと思っている言葉「シュークリーム」や「ピザ」は英語からきた言葉ではなく、外来語にはさまざまな国から来た言葉があることに興味を持たせたい。またカタカナの読み方そのままでは外国では通じないことに気づかせ、アクセントに気をつけながら発音させたい。

LESSON6では「What do you want?」の表現が使われている。この表現の学習をふまえ、LESSON9 ランチメニューを作ろう「What would you like?」を学習することにつなぐ。この表現を楽しく使って、パフェを作ることが子ども同士のやりとりでできると考える。

- 指導にあたっては、まず、「英語で何というのだろうか」と疑問に思っているものを英語で尋ねるといった活動を通して身近な外来語に興味を持たせたい。そこで第1時ではGTのビデオを活用し、子ども達が英語だと思っているものの外来語と英語の発音の違いに気付かせ、ゲームを通して発音に気をつけて聞いたり話したりするようにする。

次に、英語ノートを使ってレストランの場面での注文の仕方を学習し、チャンツや実際にやりとりをすることを通して十分に理解させてから、フルーツパフェを作る活動に入る。フルーツパフェをつくる際は、子どもがより興味を持って活動できるように教師がシールを用意しておき、子どもが器の絵に貼るようにしていきたい。

最後に、自分が作ったフルーツパフェを紹介する。クイズ形式で紹介することで、友達の話真剣に聞くようにさせる。

3. 目標

- 身近な外来語に興味をもつ。
- 積極的に必要なものを尋ねたり，注文したりする。
- 日本語と英語の発音の違いに気づき，英語の発音に親しむ。

4. 単元の構成・評価規準

時	ねらい	活動/ 評価規準	表現例
1	外来語を探すことを通して，外来語と，もととなっている外国語とでは，音が違うことに気づき，英語の音に気をつけて発音する。	活動名「身近な外国語を探そう」 「キーワードゲーム」 評価規準 積極的に身のまわりの外来語を探し，外来語と英語の発音の違いに気づき，発音しようとしている。	guitar, gorilla, kangaroo, TV glove, piano How do you say ○○ in English.
2	外来語には，英語が語源になっているものだけでないことを知る。 レストランでの注文の仕方に慣れる。	活動名 「Let's Chant」「英語ノート P38 Let's Listen」「英語ノート P39 ランチを注文しよう」 評価規準 外来語の語源は，英語だけではないことを知る。レストランゲームで注文している。	What do you want? ○○ please.
3 本時	オリジナルフルーツパフェを作る活動を通して，ほしいものを伝え合おうとしている。	活動名「Let's Chant」 「オリジナルフルーツパフェをつくろう」 評価規準 積極的にコミュニケーションをとり，オリジナルフルーツパフェを作っている。	What do you want? ○○ please. Here you are. Thank you.
4	オリジナルフルーツパフェをクイズ形式で，紹介することができる。	活動名「つくったオリジナルフルーツパフェを紹介しよう」 評価規準 友達のオリジナルフルーツパフェの紹介を聞き，クイズに答えている。	What fruit do you like? I like ○○.

5. 本時

10月19日(月) 場所 愛宕小学校5年〇組 教室

6. 本時の目標

○ オリジナルフルーツパフェを作る活動を通して、ほしいものを伝え合う。

7. 本時指導の考え方

本時は外来語の中でフルーツを取り上げ、自分のオリジナルフルーツパフェをつくる活動を通して、ほしいものを伝え合うことをねらいとしている。

子ども達は前時までには外来語は英語だけでなく、さまざまな国の言語が語源となっていることを知り、外来語と本来の発音の違いに気づいている。前時では注意して発音をしながら、レストランの場面を通してほしいものを注文することができている。本時はその表現を使い、フルーツをもらいオリジナルフルーツパフェをつくる。

まず、チャンツでほしいものの言い方を復習する。

そして、パソコンとプロジェクターを使って視覚的にめあてをつかませる。その時、パフェの写真を見せ、自分のオリジナルのものをつくっていくことを意識させる。また、いくつかのパフェの中から、教師の紹介を聞いて、教師のパフェを当てる活動を行い、自分のフルーツパフェをクイズ形式で紹介することも知る。

パソコンを使いながら、フルーツの名前やフルーツの注文の仕方を確認する。その時、教師が外来語の発音をして、英語の発音に気をつけることも意識させる。

そして、オリジナルフルーツパフェを作る。代表児童とHRTがデモンストレーションを行い、フルーツのもらいかたを確認する。グループで注文する役と注文を受ける役に別れて、好きなフルーツをもらう活動を行う。多くの人と会話ができるように、一人の人からもらえるシールは1枚にする。オリジナルフルーツパフェをつくるときに、つくりやすいようにフルーツはシールに印刷しておく。また、自分のオリジナルのスイーツを付け加えることができるよう、チョコレートやアイスクリームのシールも用意する。自分でオリジナルのスイーツなどを書き加えることができるように、白紙のシールも用意しておく。白紙のシールは自由にここにはないスイーツやフルーツがかけるようにする。HRTが持っておき、HRTに注文に来た児童にのみ渡すようにする。また、HRTはコミュニケーションがうまくいっていない児童に注文の仕方を教えるようにする。


前半グループと後半グループに分かれ、どちらのグループも注文が終わったら、フルーツシールを画用紙のパフェの器に盛り付け、自分なりのフルーツパフェをデコレーションする。クイズのグループごとに集まることで、友達のフルーツパフェを見ながら楽しくシール貼っていくようにする。教師は白紙のシールがまだほしいという子には渡していくようにする。

最後に、今日のふり返しを行い、進んでほしいものを伝えることができたか、オリジナルのフルーツパフェが作れたかについて話し合い、活動できたことを認め合えるようにする。


8. 本時の展開

過程	児童の活動	教師の支援（担任・GT）	教材・評価場面
あいさつ	1. あいさつをする。 I' m tired. Fine.	How are you?	
ウォームアップ	2. Let' s Chant.		・
めあて確認	3. めあてをたしかめる。	○数種類のパフェの写真を見せ、オリジナルのものをつくるという意識を高める。	・パソコン ・プロジェクター
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ほしいものを伝えて、オリジナルのフルーツパフェをつくろう。 </div>			
コミュニケーション活動	4. オリジナルフルーツパフェを作ったあとに、クイズ大会をすることを知らせる。 5. フルーツパフェをつくる活動のデモンストレーションを見る。 6. フルーツパフェをつくる。 ・注文タイム（前半・後半） ・デコレーションタイム	○HRTが作ったパフェを提示し、クイズ形式で答えさせることにより、次時にクイズ大会をすることを知らせる。 ○伝え合い方を知らせるために、児童に What do you want?と尋ねさせ、教師が「○○please.」と答える ○英語の発音に気をつけるために教師が外来語を使い、児童に訂正させる。 ○パフェをつくる意欲を高めるために、シールを用意する。 ○スイーツシールや白紙のシールを用意し、自分なりのオリジナルのパフェがつけられるようにする。	・パソコン ・プロジェクター ・フルーツ・スイーツシール ・白紙シール ・台紙 ※積極的にほしいものを伝え、オリジナルフルーツパフェを作ろうとしている。
ふりかえり	7. ふり返しカードに書く。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 1. 進んでほしいものを伝えることができましたか。 2. 楽しみながら、オリジナルフルーツパフェを作ることができましたか。 </div>			
あいさつ	8. あいさつをする。		

第1時

過程	児童の活動	教師の支援（担任・GT）	教材・評価場面
あいさつ	1. あいさつをする。 I' m tired. Fine.	How are you?	
導入 (ウォームアップ)	2. 身の回りにあるものの外来語と英語の発音が異なることに気づく。	○ビデオであらかじめのGTの発音を録音しておき, How do you say ○○ in English?とたずねて, 身の回りのものの英語の発音を教えてもらうようにする。	・ビデオ ・プロジェクター ※英語で何と云うか答えようとしている。
めあて確認	3. めあてをたしかめる。 		
展開 (コミュニケーション活動)	4. 英語ノート P36.37を行う。 ・【Let' s listen】CDやDVDの発音を聞いて教科書を指し, 発音する。 ・【Let' s play】キーワードゲーム 5. 身近な外来語をグループで探し, 英語で何と云うか言ってみる。	○CDやパソコンを使い, ネイティブの発音を続けて聞かせるようにする。 ○英語の発音になっていないときは「What?」と聞き返し, 発音も意識させるようにする。キーワードゲームに慣れてきたら, わざとキーワードの外来語を言い, そのときはけしごむを取らせないようにする。 ○グループでさがす外来語のテーマを決める。 ○探した外来語を班で発表し, 分からない言葉は, 調べたり, 次回GTが来た時にたずねたりするように声をかける。	・英語ノート1 ・パソコン ・プロジェクター ・掲示資料 ※外来語と英語の発音に気をつけながら発音している。 ・テーマの書いてある画用紙 ※積極的に外来語を探している。
ふりかえり	7. ふり返りカードに書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">1, 外来語と英語の発音のちがいに気をつけて発音しましたか。 2, 集めた外来語を英語で何と云うか考えたり, 話し合ったりすることができましたか。</div>		
あいさつ	8. あいさつをする。		

第 2 時

過程	児童の活動	教師の支援（担任・GT）	教材・評価場面
あいさつ	1. あいさつをする。 I' m tired. Fine.	How are you?	
ウォームアップ	2. 前回集めた外来語の中で分らなかった英語の発音を確認する。	○自分で調べたり，GTに聞いた人をはめる。	
めあて確認	3. めあてをたしかめる。	○料理の絵や写真を見せ，めあてをつかむ。	
			
コミュニケーション活動	4. 外来語クイズを行い，外来語がどこの国から来たのかを尋ねる。 5. 英語ノート P38 「Let's Listen 1」をする。 6. 友達と注文をし合う。 ① 注文の仕方に慣れる。(チャンツ) ② 友達同士で注文しあう。 7. 英語ノート P39 「Let's Listen 2」をする。	○外来語の中には，英語が語源でないものも多くあることに気づかせるために，Where is ○○ from? と尋ね考えさせる。 ○言葉の文化交流について気づかせるために，日本から外国へ行った言葉も紹介する。 ○聞き取れない様子であれば，2回 CD をかける。 ○What do you want? と尋ねて，児童が答えに困った時は具体的に食べ物の名前を挙げて答えやすくするようにする。 ○次時はフルーツパフェをつくることを伝えておく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語ノート 1 ・ CD (またはパソコンプロジェクト) ・ 絵カード ・ 国旗カード ※食べ物がどこから来たか答えている。
ふりかえり	7. ふり返りカードに書く。		
	① 外来語のものは英語だけでなく，いろいろな言語であることに気づきましたか。 ② 外来語がどこから来たか尋ねたり，レストランで注文をしようとしたりできましたか。		
あいさつ	8. あいさつをする。		

第4時

過程	児童の活動	教師の支援（担任・GT）	教材・評価場面
あいさつ	1. あいさつをする。 I' m tired. Fine.	How are you?	
ウォームアップ	2. Let' s Chant.		
めあて確認	2. めあてをたしかめる。		
オリジナルフルーツパフェを紹介しよう。			
コミュニケーション活動	<p>3. 誰のフルーツパフェなのかを当てる。</p> <p>①クイズの仕方をデモンストレーションで示す。</p> <p>②一つのグループのオリジナルフルーツパフェを誰がつくったのか分からないようにして番号をつける。</p> <p>③順番に自分の好きなものを発表する。</p> <p>④聞いている人はカードに何番が誰のパフェかを記入する。</p> <p>⑤自分がつくったパフェの前に立つ。</p> <p>グループの数だけくりかえす。</p>	<p>○伝えようとしていることをしっかり聞けるように、聞かないと答えられないクイズ形式の授業を仕組む。</p> <p>○班で順番を決めたり、練習したりする時間を与える。</p> <p>○手元のプリントに答えを書きこむことで、英語が苦手な子もゆっくり、考えることができるようにする。</p> <p>○クイズでわからない場合や外来語の発音になったときは、Once more. と声をかけて、何度も言ってもらうことで、コミュニケーションを図る。</p>	<p>・第3時につくったオリジナルフルーツパフェ</p> <p>※自分の好きなものの紹介をしたり、友達の発表を聞こうとしたりしている。</p>
ふりかえり	7. ふり返りカードに書く。		
<p>① 自分のフルーツパフェを紹介することができましたか。</p> <p>② 友達の発表を聞き、クイズに答えようと思いましたか。</p>			
あいさつ	8. あいさつをする。		